



おおた 区議会 だより

令和4年
第2回
定例会号

No.252

令和4年
7月24日発行

区民生活や事業者支援 のための第2次補正予算 などを可決

大田区議会は、令和4年第2回定例会を6月15日から24日までの10日間の会期で開きました。

定例会では、区政の各分野における課題について、16名の議員が質問し、議論しました（詳細は、2～5面に掲載）。

- 区長提出議案として、令和4年度大田区一般会計補正予算（第2次）、条例案、条例の一部改正案、諮問、報告など25件が提出されました（詳細は、6面に掲載）。
- 請願・陳情は、審議の結果、不採択3件、そのほかは継続審査となりました（請願・陳情の結果は、7面に掲載）。

発行／大田区議会

〒144-8621
大田区蒲田五丁目13番14号
電話 03-5744-1474 (直通)

<https://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>



大田区議会 検索



今号のイラストは、青空のもと多摩川河川敷に咲いているひまわりをイメージしております。大田区では、18か所にある特別出張所の地区ごとに「地域の花」を選定しております。ひまわりは馬込・池上・蒲田東地区の「地域の花」です。

令和4年度一般会計補正予算（第2次）を可決

第2回定例会に提出された令和4年度一般会計補正予算（第2次）は、第1次補正予算編成後に生じた状況の変化に速やかに対応し、また社会経済状況を踏まえ、区民生活や事業者の支援に資する予算として、25億380万円を増額するものです。今回の一般会計補正予算で計上された事業は、以下のとおりです。

一般会計補正予算 （第2次）の事業

福祉費	
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業	17億143万2千円
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給に係る経費	
産業経済費	
商店街活性化推進事業	6億5,400万円
大田区プレミアム付デジタル商品券及びプレミアム付区内共通商品券事業に係る経費	
中小企業融資	1億4,836万8千円
一般運転資金に係る利子補給加算の受付期間延長	

永年在職議員表彰



大田区議会は、6月16日の本会議において、区議会議員として在職25年間にわたり、区政の発展に尽力された功績に対し、黒沼良光議員を表彰いたしました。



会議録検索システム

区議会の会議録を検索閲覧できるシステムを区議会ホームページに掲載しています。

詳しくは、区議会ホームページの会議録をご覧ください。



大田区議会公明党

岡元 由美

子育て・教育の充実と 力強い産業発展の大田区へ

物価高騰から区民を守る取り組みについて

問 学校給食費への支援に加えて、保育園、幼稚園など、更に介護施設や障がい者支援施設などに対しても支援してもらいたいと思うが、区の考えを伺う。

答 物価高騰による食材調達や利用者負担に十分留意し、良質で安定した給食提供ができるよう適切に対応していく。

災害時の人材確保について

問 職員だけでは不足する災害対応のために外郭団体などと協定を結び、人材確保に努めていくことが重要であると考えますが、いかがか。

答 外郭団体などが担うサービスの特性を見極めながら、物的支援に加え、人的支援という点においても、より一層の連携を深め、強固に取り組んでいく。

ヤングケアラー支援について

問 ヤングケアラーに対する認知度向上、ヤングケアラーを見つけるための研修、ケース会議の開催など、今後どのように進めるのか、考えを伺う。

答 学校や関係機関、地域の支援者などへの研修を通し、地域全体で見守り気付き体制をつくり、適切な相談機関に早期につなげていく。また、国が作成したチラシの活用で集中的な広報啓発を行い、支援を必要とする子どもが制度の狭間に陥ることがないように、包括的な支援体制の構築を進めていく。

児童虐待による死亡事例は、0〜3歳未満の子どもで、母親が無職のケースが最も多い。保育園の一時預かりは虐待の兆候を見つけてつながる。今後の既存施設の有効活用について区長の考えを伺う。

答 定員に空きがある保育園などに余裕活用型の一時預かり事業の促進を図ることで、在宅子育て支援の充実と欠員枠を含む保育施設の有効活用を努めていく。

活用について区長の考えを伺う。

答 定員に空きがある保育園などに余裕活用型の一時預かり事業の促進を図ることで、在宅子育て支援の充実と欠員枠を含む保育施設の有効活用を努めていく。

産後ケアや産後家事育児支援事業の予算が削減された。必要な事業は実績が低いからと削減するのはなく、低い原因を分析し、実績を上げるための具体的な対策を講じていくべき。今後の事務事業見直しのあり方について伺う。

答 事業の成果を的確に評価した上で、目的の実現に資するための改善を行い、次の実施につなげるというサイクルを継続する仕組みの中で事業の効果を最大化し、区民満足度の向上を目指していく。

今後の羽田インベシメントの展開について

問 多摩川スカイブリッジの開通により、キングスカイフロントとの関係をどのように強化し、区の発展につなげていくのか伺う。

答 先端医療をはじめ、様々な専門領域、多様な業種の集積によるイノベーションを羽田の地で一層進め、国際競争力強化の一翼を担えるよう戦略的に力強く進めていく。

新空港線について

問 財源の確保について伺う。

答 都市鉄道利便増進事業で定められている事業費の3分の1の地方負担分について、都が3割、区が7割で合意するとともに、特別区都市計画交付金の対象事業となるよう、都と区で調整を行う旨、合意文書に記載することに至った。これは都と区の強い信頼関係があることからこそ成し得たものである。出資金も同様に、都区財政調整制度の特別交付金の対象となる



令和4大田区議会 無所属(5・維新)

須藤 英児

次世代を見据えた、 人づくりとまちづくり

大森駅西口都市計画について

問 大森貝塚や馬込文士村など歴史や文化を次の世代に伝えつつ、交通の安全・防災・防犯の面からも改善が必要と考えるが、いかがか。

答 貝塚の史跡や馬込文士村など、魅力ある資源を次の世代に伝承・活用していくことを踏まえ、安全性・利便性・快適性を兼ね備えたまちづくりに取り組んでいく。

防災まちづくりについて

問 区を壊れない・燃えないまちにするため、耐震化や除却、不燃化、地盤調査などの具体事例を示し、様々な相談業務に力をいれるべき

と考えるが、いかがか。

答 個々に応じた相談業務を継続し、災害に強く、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する。

地域防災について

問 地域防災のあり方を考え直し、水防のための意識付けをすべきと考えるが、いかがか。

答 土のうなどの浸水防止対策や排水ポンプの活用など、建物を浸水から守るための後押しをしていく。

区の農業について

問 都市農地などの積極的な維持・保全について区長の考えを伺う。

答 貴重な都市農地を守り、農の風景を後世に伝えていくために、各種制度を活用し都市農地のみどりを守っていく。

区長挨拶 (抜粋)



松原 忠義 区長

●新空港線整備

令和4年6月3日に開催された、第5回「新空港線及び沿線まちづくり」等の促進に関する協議の場におきまして、課題となっていた

都と区の地方負担分における費用負担割合を含む基本的事項について、6月6日付で都と合意することができました。この合意を受け、次への一歩を進めるべく、今後は関係者間で、事業費の精査に向けた協議を引き続き進めるとともに、整備主体となる第三セクターの早期設立に向けた調整を進めてまいります。

●新型コロナウイルス接種事業

3回目の接種につきましては、6月14日現在、44万3千人以上の方が接種を完了しており、接種率は74.6%となっております。特に、65歳以上の方の接種率は87.8%と接種が着実に進んでおります。4回目の接種につきましては、5月25日から接種を開始しており

●個別避難計画

区は、災害時の避難に支援を要する高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦、外国人などの中でも、避難

景を後世に伝えていくために、各種制度を活用し都市農地のみどりを守っていく。

問 大田区野菜と花の品評会について、区長の思いを伺う。

答 生産者と消費者が触れ合う場を提供することは宮農者支援であると考えている。

ウィンタースポーツについて

問 区民の健康維持・向上を図るため、ウィンタースポーツに目を向けてもらえるよう魅力発信が必要ではないかと考えるが、いかがか。

答 ウィンタースポーツの普及も区民の健康増進の一つと認識しており、区民スポーツ大会や湯の丸高原スキー場へのスキーツアーなどを実施している。

新空港線とまちづくりについて

問 区民にとって長年の悲願である新空港線と沿線のまちづくりについて区長の考えを伺う。

答 区は、今回の都区合意を新空港線整備及び沿線のまちづくりに向けた取り組みの新たな第一歩と捉え、これまで以上に魅力的で、多くの方に訪れてもらえるまちを目指し精力的に取り組んでいく。

教育について

問 命を守る教育とプレゼンテーション能力の育成について伺う。

答 命を守る教育は最も大切な教育である。児童・生徒が犯罪や事故、自然災害などから危険を予測して回避する資質や能力の育成、自殺の未然防止やいじめ防止、健康教育などの命を守る教育を行っている。自分の考えをまとめたり、自分の思いを伝える学習を日常的に取り組んでいる。

区内産業への支援

コロナ禍に加え、資源・原材料の高騰など、激動の社会情勢が区内産業に大きな影響を及ぼす中で、区は事業者の皆様へ寄り添い、後押しする取り組みを引き続き進めてまいります。特に、喫緊の課題である「区内製造業のデジタル化」につきましては、デジタル技術を活用した受発注の仕組みを大田区から発信することで、区内企業はもとより、全国・世界の企業や地域との広域連携を推進してまいります。また、3年に開設した「おおたデジタルピオ」では、半年で600を超える事業者の方々に登録をいただきました。区内企業のデジタル化を推進するとともに様々な業種の方が出会い、交流するコミュニティの土台として、更なる充実を図ってまいります。

子どもへの貧困対策

第2期目となる「おおた子ども」の生活応援プラン」を策定いたしました。計画期間は、4年度から8年度までの5年間でございませう。区では、平成29年3月に第1期プランを策定し、子どもとその家庭を支援する施策に取り組みでまいりました。子どもや家庭を取り巻く課題は、複合・複雑化する傾向があります。社会環境の変化や複合・複雑化する課題に的確に対応するため、庁内一丸となって重層的な支援体制の充実に取り組み、社会的包摂の理念のもと、地域との連携を強化しながら、本計画を更に力強く推進してまいります。

個別避難計画

区は、災害時の避難に支援を要する高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦、外国人などの中でも、避難

録画中継

本会議などの様子を録画したテレビ中継映像をインターネットで配信しています。



一般質問

質問と答弁は、質問者がまとめた要旨を掲載しています。詳しくは、区議会ホームページの会議録をご覧ください。

大田区議会公明党



檀 真一

火災被災者支援について

問アルコール消毒液など、日常生活の新たな危険性に対し、区民への注意喚起を行ってほしい。

答新たな生活様式で生じた危険性への対応は重要と考える。今後、防災機関と情報共有し、区民に注意喚起や情報提供を行っていく。

問火災被災者に分かりやすい支援情報があれば、心を整理する上で有効と考えるが、区の見解を伺う。

答火災などで被災された後の手続きや支援情報など、内容を充実し、被災者支援に一層役立てるとともに、区職員の知見の向上やスキルアップを図っていく。

小・中学校の水道蛇口のレバー化について

問小・中学校の感染防止・避難所機能強化のため、蛇口は手回し式からレバー式への交換を求めます。

答今後、区立小・中学校の改築や改修を行う際には、レバー式水栓や自動水栓などを整備していく。また、当面改築改修予定がない学校も、レバー式水栓を含めた取り替えを検討していく。

ひきこもり支援室SAPPOTAと重層的支援体制移行について

問SAPPOTAの開設後の状況について伺う。

答開設してから1か月間に38件の相談を受けた。今後もアウトリーチ支援に取り組んでいく。

問学校とSAPPOTAとの連携は重要である。区の見解を伺う。答卒業により支援の手が途切れる

このないよう、学校関係者と連携し支援していく。

問重層的支援会議は誰が中心か。

答重層的支援会議は地域福祉課、地域包括ケア推進担当が担っている。チーム支援を検証し、令和5年度の本格実施につなげていく。

大田区議会公明党



松本 洋之

防災の取り組みについて

問ブロック塀助成事業は、令和4年度末までの事業だが、今後1件でも多く改修が進むよう、推進してほしい。その際、助成上限額の見直し、ブロック塀などの改修状況の公表など、検討すべきことは様々あると考えるが、見解を伺う。

答区は、ブロック塀などの所有者に対し、助成制度の期限を案内することで劣化した塀の早期改修を図るべく、事業の最終年度である残りの期間においても、しっかりと働きかけを続けていく。今後の取り組みについても、引き続き教育委員会と連携を図り、通学路沿いにある危険な塀の改修を進めていくため、これまでの事業効果を検証した上で、事業の手法や制度のあり方について検討し、安全性が確保されたまちづくりの推進に向け、着実に対応していく。

問線状降水帯発生に伴う集中豪雨に関する区民への情報発信について、区の見解を伺う。

答区民に必要な情報を届けられるよう、情報伝達体制の更なる強化に努めていく。

保育の取り組みについて

問国の施策や指針も含め、保育業界の動向は大きく変動している。現場の実態に沿った形で支援を行っていくべきと考えるが、区の見解を伺う。

答長年の課題であった待機児童は、3年4月にゼロとなり、これからは保育の質の確保と一層の向上に取り組むことが重要であると考えている。これまでも保育ニーズの変化に応じた定員の変更を実施してきたが、保育環境の向上につながる認可保育所全体の定員の見直しなど、総合的な検討を進める中で、欠員の抑制に努めていく。

フェアな民主主義



奈須 利江

三位一体改革の増税や社会保険料負担増で取りがなくなった区民は、社会保障で安心を得られたか。それでは増税増収分は何に使ったか。

問区は社会保障のための増税・増収分を蒲蒲線の基金に88億円など総額1千億円超をため、20年物国債などを買い、運用益を稼いでいる。増収分で国債を買うことが住民福祉のための増税分の使い方が、住民福祉に資すると考える。問特別養護老人ホームの利用料は、年金では足りず預貯金の切り崩しが前提になっている。区は、区民が貯蓄できる環境にあると見え、設定しているか。利用料は適正か。答個室は月額14〜17万、多床室は10万円程度で利用料は適正である。

自由民主党大田区民連合



伊佐治 剛

「やさしいまち」大田区の実現について 問知的障がいのある方にとって、

健康者のように成人期の余暇活動を見つめることは容易ではない。

問勉学に意欲のある学生が経済的な事情で就学を断念することなく、安心して勉学に取り組めるよう、奨学金制度の運用見直しが必要だと考えるが、見解を伺う。答各部署の様々な事業の活用を検討しながら、障がい者の余暇活動の充実に努めていく。

問奨学金による就学支援が経済的に困難な学生などに広く、より効果的に行き届くよう検討していく。問雑色駅、六郷土手駅、大森町駅など普通列車しか停車しない駅へのホームドアの設置が進まない。ホームドアの設置に向け、区独自の財政的な支援も考えるべきでは。答予算特別委員会の伊佐治委員からの質問を踏まえ、ホームドアの設置の要望を京急電鉄へ伝えていく。引き続き補助金の効果的な活用を含め、早期実現に向けて、京急電鉄と情報共有しながら検討を進める。

区民の安全と健康を守るための体制整備について

問歯や口腔の管理が全身の健康維持、増進に大きく貢献するということは、様々なエビデンスから明らかである。福祉及び介護専門職の口腔ケアに対する知識の向上という観点から、研修体制の構築を求めるが、いかがか。答福祉人材育成・交流センターの研修プログラムに講座を設けるなど、支援の充実に努めていく。問自治会・町会が果たしている役割の重要性を鑑み、加入促進や活動参加を促す条例を制定し、区と自治会・町会の役割、位置付けを明確にすべきと考えるがいかがか。答他自治体の条例などに関する動向を踏まえ、更なる調査・研究が

必要であると考えている。

公共用地の有効活用について

問第一京浜国道の拡幅用地が、活用されず放置されている。区民の利用や保育園の代替園庭など様々な視点で活用すべきではないか。答区としても現状の課題は認識しており、早期管理整備完了を国や都へ要請する。

問航空会社と鉄道会社の連携強化などの状況変化に備え、区自体が固有の目的地になり得る魅力あるまちづくりを目指していくことを求めるが、区の見解を伺う。

答新空港線整備を契機として、蒲田駅周辺の開発に合わせた東西自由通路の整備などに加え、スマートモビリティや再生可能エネルギーなど、最先端技術を積極的に活用し都市機能の更新を進めていく。問羽田イノベーションセンターを中心に殿町ライフィノベーション特区と呼応した医薬創薬産業を次世代の産業集積として目指すべきと考えるが、いかがか。答藤田医科大学病院が先端医療研究センターの担い手として入居予定であり、先端医療分野における新産業創出とものづくり企業における受注拡大の好機と捉えている。国内外から医学博士や臨床工学士、医療機器メーカーなどが一堂に会し、交流することで、新事業の開拓を促し、更なるイノベーションが誘発されるよう取り組む。新たなネットワーク構築はキングスカイフロントの創薬産業をはじめとしたライフサイエンス分野との連携、更には羽田における次世代の医療系新産業創出とその集積につなげていく。

自由民主党大田区民連合



長野 元祐

空港機能の変化と今後の課題について

プレミアム商品券事業について

問区のプレミアム商品券事業の実施方法の改善、準備期間の短縮方法について、どのような取り組みが考えられるか伺う。答一つの方策として、デジタル地域通貨のような仕組みを常時運用していくことが考えられるが、行政のDX化の流れの中で全庁的な検討が必要であると考えている。

問機動的で柔軟性のある施策展開に取り組んでほしいが、どのように考えているか伺う。答潜在する課題や区民ニーズを的確に把握し、未来を見据えた新たな事業を提案する能力を高めるとともに、既存事業の再構築や施策の前倒しなど、臨機応変な対応力も磨いていく。更に今後は、このような取り組みを区全体に水平展開することで、組織力を一層強化し、区民が真に必要な施策を展開し、機動的かつ柔軟性のある行政運営を推進していく。

議会録画中継の動画配信のご案内

～スマートフォンなどから手軽にご視聴いただけます～

以下の二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、議会の録画中継をご視聴いただけます。 ※視聴にあたり事前に読み取り用アプリのインストールが必要となる場合があります。



簡単アクセス!



会議録検索システム

区議会の会議録を検索閲覧できるシステムを区議会ホームページに掲載しています。

詳しくは、区議会ホームページの会議録をご覧ください。



海老澤圭介

自由民主党大田区民連合

問 お休み処など商店街の空間をいかに整備に使える制度、サポートはあるか伺う。

答 お休み処の支援は、都において商店街チャレンジ戦略支援事業補助金が活用できる可能性がある。空き店舗活用事業の一環として、空きスペースを活用したコミュニティ創出を支援するものである。

問 商店街の空き店舗を活用した喫煙所の整備や維持管理に対する補助制度はあるか伺う。

答 都及び区において、商店街組織に対する喫煙所の整備に関わる直接的な補助制度はない。区では、受動喫煙に配慮した構造の一般開放可能な喫煙所を整備する方に、整備・維持管理に係る経費の一部を助成する制度を運用している。建物所有者や近隣店舗などとの合意形成が不可欠である。検討の際は産業振興課へ相談いただきたい。

問 仲池上付近で地域要望の対応をお願いした香川緑道を引き続きどのように整備していくのか。

答 区は、日常生活の移動・憩い・健康増進を図る散策路の重要性を再認識している。香川緑道については、歴史や自然環境、水と緑を楽しむ緑道とともに、公園などの拠点の整備や夏の暑さ対策として路面温度の上昇を抑制する遮熱性舗装も採用している。

問 運動部活動の地域移行についての提言をどのように捉え、検討していくのか見解を伺う。

答 提言では、移行時期を令和5年度から3年後を目途とし、区も国や都の動向を踏まえつつ、速やかに準備を進める必要があると考えている。指導者の質・量の確保、施設の使用料や指導者への謝礼、費用負担、部活動と教育課程との関連など検討すべき課題も多いものと認識している。引き続き関係部局と連携し、検討を重ねていく。

問 部局間連携会議など土台を作るべきだと思いが、区の見解を伺う。

答 運動部活動の地域移行を検討し、中学生などにふさわしいスポーツ環境を着実に構築していくことが重要である。円滑な地域移行のためには、スポーツ団体の支援など様々な課題を多様な視点から検討していく場が必要である。実情を踏まえ、地域スポーツ団体や教育委員会、スポーツを所管する部局が連携して、重層する課題を検討していくための会議体をつくる必要があると認識している。



菅谷 郁恵

日本共産党大田区議員

国の政治の防波堤になって高齢者支援をすることについて

問 物価の高騰、年金引き下げで高齢者は暮らしが厳しい。社会保障を削減し、自助を強調してきた国に後期高齢者の医療費窓口負担2割を中止するよう求める。

答 国に対し中止を求めない。

問 特別障害者手当は認定されると月額2万7千円が支給されるが、申請数は一桁である。対象となる要介護4・5の高齢一人暮らしや高齢者世帯などは申請できない方が多い。区が申請を支援すべき。

答 申請の勧奨や手続きの説明など申請につながるよう努めている。

問 補聴器は引きこもり防止、認知症予防になるが高額である。助成額の増額、補聴器の不具合などに関する相談や支援を拡充すべき。

答 現時点では考えていない。

子どもの人権を尊重する区政へ

問 区でも、子どもの声を大切に、区の責任と役割を示す子どもの権利条例を制定すべき。

答 こども基本法案の審議や国の動向などを注視していく。

問 党区議団も条例提案してきた18歳までのこども医療費の無償化を早期に実施すべき。

答 都との間で調整を行っていく。

問 保育は、国が児童福祉法を制定し、国の基準に足りないところを自治体が補助金を支給している。国に対し、70年前に作られた保育園職員定数を見直すよう求め、区も質の改善のために4・5歳児の定数の基準や条件を見直すべき。

答 子どもたちの安全な保育環境の確保に努めていく。

問 処遇改善費4600円が削減された。保育士応援手当を削減すると計1万4600円の削減になる。保育士応援手当の継続を求める。

答 新規認可保育所の開設によらない保育サービスの提供を行う。

都の防災計画見直しについて

問 都が想定被害を3割減らしたが、区は、災害時における最悪の場合を考え、被害想定を見直しによる縮小ではなく、拡充すべき。

答 様々な課題解決に取り組む。



荻野 稔

東京政策フォーラム

新空港線蒲線について

問 東急多摩川線・JR蒲田駅の乗り換え時間は約5分20秒、京急蒲田駅の乗り換えは約6分20秒と予測が出ている。東急池上線と多摩川線の乗り換え予定時間を伺う。

答 算出すると約2分50秒である。

問 下丸子以外の沿線には他にも駅がある。区は、多摩川線沿線のまちづくりをどう考えているか伺う。

答 利便性が高く、安全・安心なまちの実現に取り組んでいく。

障がい者支援について

問 利用者からのハラスメントについて実態を把握しているか伺う。

答 福祉サービス職員が利用者や家族から暴力的言動や過剰要求などのハラスメントに遭い、区に対し

て相談が寄せられることもある。



小川あずさ

立憲民主党大田区議員

問 英語教育について区の取り組みを伺う。

答 小学校では、A・L・Tと英語に親しむ授業を実施し、中学校では、英語での議論や意見を示す対話的学習が行われている。

問 区は、子どもたちの状況をどのように捉えているか伺う。

答 令和3年度学力調査では「英語の勉強は好きか」の問いに肯定的な答えが小学6年生、中学3年生ともに向上している。また、中学3年生の英検3級以上の取得率は3年度には51%と向上し、習熟度別少数人数指導の成果と捉えている。

問 小学生から英語を始めたことを理由に、おいていかれる子どもが以前より増えていると聞くが、この解決について伺う。

答 学習指導要領の改定の趣旨として、中学英語では文法・語彙などに重点が置かれていた授業に課題があることと示され、以降、中学校では小学校で培ってきた英語の素地を踏まえた授業を意識し、学びの連続性を重視している。今後は習熟が十分でない生徒には、補習教室など、習熟度に応じた指導を丁寧に行っていく。



松原 元

令和4年大田区議員(無所属5+維新1)

成年年齢引き下げについて

問 児童養護施設などを退所した、いわゆる社会的養育経験者が様々な生活上の課題を抱えた際の支援が重要と考える。区は、こうした社会的養育経験者への支援をどのように考えているか伺う。

答 区は、仮称大田区子ども家庭総合支援センター開設に向けてアドバイザー会議内に課題別分科会を設置し、社会的養育経験者の自立支援についても検討する準備を進めている。社会的養育経験者の地域における安心した暮らしと自立を支援する仕組みづくりを検討していく。

合支援センター開設に向けてアドバイザー会議内に課題別分科会を設置し、社会的養育経験者の自立支援についても検討する準備を進めている。社会的養育経験者の地域における安心した暮らしと自立を支援する仕組みづくりを検討していく。

問 新たに賃貸借契約を結びづらい高齢者などを対象に行っている居住支援と同様の取り組みを、児童養護施設を卒園・退所する新成人に行う必要があるのではないかと。現在、児童養護施設退所者から相談を受けた際は、事情をよく伺うとともに、丁寧な対応に努めている。住まい確保は、他自治体における支援の実施状況などを踏まえ、更に研究していく。

問 新たに賃貸借契約を結びづらい高齢者などを対象に行っている居住支援と同様の取り組みを、児童養護施設を卒園・退所する新成人に行う必要があるのではないかと。現在、児童養護施設退所者から相談を受けた際は、事情をよく伺うとともに、丁寧な対応に努めている。住まい確保は、他自治体における支援の実施状況などを踏まえ、更に研究していく。

問 新たに賃貸借契約を結びづらい高齢者などを対象に行っている居住支援と同様の取り組みを、児童養護施設を卒園・退所する新成人に行う必要があるのではないかと。現在、児童養護施設退所者から相談を受けた際は、事情をよく伺うとともに、丁寧な対応に努めている。住まい確保は、他自治体における支援の実施状況などを踏まえ、更に研究していく。

問 新たに賃貸借契約を結びづらい高齢者などを対象に行っている居住支援と同様の取り組みを、児童養護施設を卒園・退所する新成人に行う必要があるのではないかと。現在、児童養護施設退所者から相談を受けた際は、事情をよく伺うとともに、丁寧な対応に努めている。住まい確保は、他自治体における支援の実施状況などを踏まえ、更に研究していく。



犬伏 秀一

令和4年大田区議員(無所属5+維新1)

公務員のお花畑感覚について

問 羽田イノベーションシティのバス駐車場をリムジンバスに長期貸し出すため、団体バスが停められない。また、地主である大田区執務室の看板すらない。税を使いなから一体誰のための施設なのか。

答 公民連携により進めている本事業について、民間事業者が独立採算制で自らの責任と費用負担により運営している。区は事業者が改善に関する提案などを行っていく。

問 役所的な対応を行う大田区産業振興協会は一度解散し、新たな仕組みで事業を進めるべき。

答 当協会並びに産業経済部職員一同、更に気を引き締めていく。

問 蒲田清掃事務所は廃止から1年4か月もたつが、跡地はまだ放置されている。遅い！どうしたら意思決定を素早くすることができるとか。どうしたら縦割り行政から脱皮して庁内連携ができるのか。

答 即断即決する組織風土を醸成し、

良質で満足度の高い区民サービスを安定的に提供することで、持続可能な区政運営に取り組んでいく。



平野 春望

立憲民主党大田区議員

防災について

問 都の新たな被害想定を受け、避難者数が増えつつあること、避難所などの備蓄について、どのように対応するのか伺う。

答 改めて区民に家庭内備蓄や非常持ち出し品の重要性を呼びかけるとともに、避難所にいづどのような物資がどれだけ必要になるのかを精査していく。

蒲田のまちづくりについて

問 JR蒲田駅周辺のバリアフリー整備における取り組みと今後について、区の考えを伺う。

答 まちづくりの機会を的確に捉え、誰もが移動しやすいまち、使いやすい施設で満たされる都市空間の形成を目指していく。

問 現在、JR蒲田駅には北側に階段しかない通路があるが、蒲田駅周辺地区ブランドデザインの改定を踏まえ、駅舎内にある連絡通路の将来的な24時間バリアフリー化について伺う。

答 連絡通路については、駅舎更新に併せて、24時間通行可能で、バリアフリーな自由通路として整備する方向で整理をしている。

ホームページのご案内

議会の新着情報や議員名簿、会議日程などをお知らせしています。ぜひご覧ください。

簡単アクセス!



詳細は

大田区議会

検索

録画中継

本会議などの様子を録画したテレビ中継映像をインターネットで配信しています。



第2回

定例会で決まった議案など

○は全会一致（8件）
●は賛成者多数（8件）

一 区長提出議案

令和4年度補正予算

一般会計（第2次）

25億380万円増額する（詳細は、1面に掲載）。

条例の制定

大田区空家等の適切な管理の推進に関する条例
空家等の適切な管理の推進に關して必要な事項を定める。

条例の一部改正

大田区特別区税条例等

地方税法等の改正に伴い、上場株式等の配当所得等に係る課税方式を見直すほか、規定を整備

大田区手数料条例

長期優良住宅の普及の促進に關する法律等の改正に伴い、必要な手数料を定めるほか、規定を整備する。

大田区墓地等の経営の許可等に関する条例

宗教法人法の改正に伴い、墓地等の経営主体に係る規定を整備する。

契約の締結

大田区仲池上二丁目付近管渠改良その2工事（下水道）請負契約

契約金額：1億3、453万円
契約の相手方：株式会社吉田組

大田第9号蒲田駅東口地下自転

大田区立大森第一小学校校舎

大田区立野辺山学園取壊し工事

大田区立沢田東児童公園

区が出資する法人の経営状況に関する書類の提出

Table with columns for opinion (賛成/反対) and results (可決) for various proposals like budget, regulations, and contracts.

- 会派名 (所属議員数)
自...自由民主党大田区民連合 (15)
公...大田区議会公明党 (10)
共...日本共産党大田区議団 (8)
立...立憲民主党大田区議団 (3)
フェ...フェアな民主主義 (1)
無...大田無所属の会 (1)
令...令和大田区議団 (無所属5+維新1) (6)
フォ...東京政策フォーラム (1)

第3回定例会の予定

Calendar of the 3rd regular meeting with dates from 9/5 to 9/13 and committee meetings.

※以上は予定であり、実際の日程は、定例会開催前の議会運営委員会で決定します。開会時刻など詳細は、ホームページをご覧ください。

議会ライブ中継のご案内

- 本会議及び予算・決算特別委員会の様子を、デジタルサイネージ（電子看板）などでライブ中継しております。
● 区役所本庁舎1階ロビー
● 特別出張所（18か所）
● 大田区産業プラザPiO
● 大田区総合体育館

※1 公園の廃止は、出席議員の3分の2以上の同意が必要な議案です。 ※2 棄却すべきものと答申することに決定しました。

車駐車場支障物撤去工事（地下構造物）請負契約
契約金額：2億7、500万円
契約の相手方：伊藤・栄伸建設工事共同企業体

大田区立東調布第三小学校及び仮称大田区南久が原二丁目複合施設改築その他工事（I期）請負契約
契約金額：24億9、700万円
契約の相手方：浅沼・幸建設工事共同企業体

大田区立蒲田小学校校舎増築その他工事請負契約
契約金額：3億6、300万円
契約の相手方：小川建設株式会社

大田区立雪谷文化センター外壁改修その他工事請負契約
契約金額：1億5、950万円
契約の相手方：小川建設株式会社



第2回 定例会 委員会付託された請願・陳情の結果

今定例会で委員会付託された請願・陳情の結果は以下のとおりです。

審査結果

委員会	請願・陳情の内容	審査結果
総務財政委員会	国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情	継続
	中国の人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情	不採択
	女性（女子）差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書に関する陳情	不採択
交通臨海部活性化特別委員会	コミュニティバスに関する陳情	継続
	新空港線（蒲蒲線）事業に関する陳情	不採択

請願・陳情は
どなたでも出せます

- 1 請願には、議員1名以上の紹介が必要です。議員の紹介がない場合は、陳情として取り扱います。
- 2 大田区議会では、原則として請願と陳情の審査は同じ扱いです。
- 3 請願・陳情の内容が数種類に及ぶ場合は、各々別の請願・陳情に分けてください。
- 4 請願・陳情の件名は、40文字以内にしてください。
- 5 請願・陳情書を提出する際は、提出者の署名または記名押印が必要です。住所、氏名は原則として公開となります。
- 6 署名簿がある場合は、請願・陳情の趣旨に賛同していることがわかる様式としてください。

●提出方法

受付は、土曜・日曜、祝日及び年末年始を除く平日の午前8時30分から午後5時まで、区役所本庁舎10階の議会事務局の窓口で行っています。

●請願・陳情書の書き方

※邦文のかい書で、以下の内容を記載してください。

- (1) 提出年月日
- (2) 宛先（大田区議会議長）
- (3) 請願・陳情者の住所、氏名、連絡先（氏名は「署名または記名押印」）
- (4) 件名（40字以内）
- (5) 請願・陳情の趣旨及び理由（簡潔な文章で）

請願・陳情書（記載例）

年 月 日

大田区議会議長あて

請願者（陳情者）
住所
氏名 ◇◇◇◇
(署名又は記名押印)
電話番号
紹介議員（陳情には不要）
□□□□
(署名又は記名押印)

○○○○に関する請願（又は陳情）

請願（陳情）の趣旨
1 _____
2 _____

理由

件名の字数は40字以内

陳情の場合は、紹介議員は不要

●陳情書を提出される方へ

次に該当する陳情は審査されない場合があります。

- ①著しく個人、団体などをひぼう、中傷をし、その個人、団体などの名誉毀損、信用失墜のおそれがあると判断したもの
- ②脅迫、恐喝など、公序良俗に反する用語の使用があるもの
- ③郵送されたもの
- ④住所、連絡先が不十分で連絡のとれないもの
- ⑤同一期内でおおむね1年を経過していない同趣旨のもので、状況の変化がないと認められるもの
- ⑥マンション紛争など、私人間で解決すべき内容を含むもの
- ⑦既に願意が達成されていると思われるもの
- ⑧その他議会の審査になじまないと議長が判断したもの

詳しくは議会事務局にお問い合わせください。☎5744-1474

議会防災訓練を実施しました

令和4年第2回定例会第1日の6月15日、本会議終了後に議会防災訓練を行いました。

訓練の目的は、①身の安全を守ること、②非常時の議事の進行確認、③議会災害対策本部の設置運営訓練の3点とし、本会議で議員が登壇中に、東京湾北部を震源とする震度6強の地震が発生した想定で行いました。

議会災害対策本部の設置運営訓練では、議員が登庁できない状況を想定してWEB会議ツールを活用し、各会派内の安否確認や被害状況の報告の後、議会災害対策本部として対応すべき事項の確認を行いました。



議場での訓練の様子①



議場での訓練の様子②



議会災害対策本部の設置運営訓練の様子

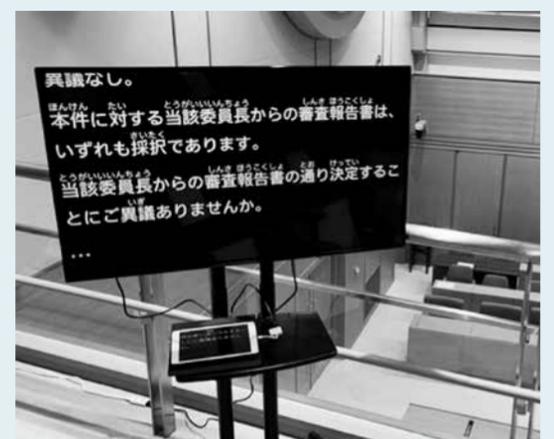


訓練で各会派から報告を受ける議長の様子

音声認識文字変換ツール（UDトーク）を導入

大田区議会では、全ての方に安心して議事を傍聴していただけるよう手話通訳者の配置、FM受信機（ヘッドホンタイプ）の貸し出しを行っておりますが、より一層傍聴しやすい環境を整備するため、音声認識文字変換ツールを導入しました。

本会議での発言内容をUDトークを介して文字化し、傍聴席に設置した液晶モニターにリアルタイムで表示します。





録画中継

本会議などの様子を録画したテレビ中継映像をインターネットで配信しています。



おおた区議会だより

8

No.252 令和4年7月24日発行

大田区議会議員 (議席と議会構成)

令和4年7月1日現在
定数：50人 現員：45人

 (自 民) 田中 一吉	 (自 民) 松原 秀典	 (自 民) 高瀬 三徳	 (自 民) 岸田 哲治	 (自 民) 大森 昭彦	 (公 明) 松本 洋之	 (公 明) 岡元 由美	 (公 明) 広川恵美子	 (令 和) 犬伏 秀一	 (令 和) 荒木 秀樹	 (共 産) 清水 菊美	 (共 産) 大竹 辰治
-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------

 (自 民) 塩野目正樹	 (自 民) 押見 隆太	 (自 民) 鈴木 隆之	 (自 民) 湯本良太郎	 (自 民) 伊佐治 剛	 (公 明) 秋成 靖	 (公 明) 田村 英樹	 (公 明) 大橋 武司	 (令 和) 三沢清太郎	 (令 和) 植田 智一	 (共 産) 佐藤 伸	 (共 産) 黒沼 良光
-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	----------------	-----------------

 (自 民) 深川 幹祐	 (自 民) 長野 元祐	 (自 民) 渡司 幸	 (自 民) 高山 雄一	 (自 民) 海老澤圭介	 (公 明) 小峰 由枝	 (公 明) 椿 真一	 (公 明) 田島 和雄	 (公 明) 末安 広明	 (令 和) 松原 元	 (令 和) 須藤 英児	 (立 憲) 小川あずさ	 (共 産) 福井 亮二	 (共 産) 菅谷 郁恵
-----------------	-----------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------	----------------	-----------------	-----------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------

- 自民 自由民主党大田区民連合 ☎5744-1480
- 公明 大田区議会公明党 ☎5744-1488
- 共産 日本共産党大田区議団 ☎5744-1477
- 令和 令和大田区議団(無所属5+維新1) ☎5744-1718
- 立憲 立憲民主党大田区議団 ☎5744-1475
- フェア民 フェアな民主主義 ☎5744-1469
- 無所属 大田無所属の会 ☎5744-1675
- フォーラム 東京政策フォーラム ☎5744-1285

 (無所属) 馬橋 靖世	 (フォーラム) 荻野 稔	 (フェア民) 奈須 利江	 (立 憲) 平野 春望	 (立 憲) 庄嶋 孝広	 (共 産) 杉山 公一	 (共 産) 荒尾 大介
-----------------	------------------	------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------

議長 鈴木 隆之 **副議長** 田村 英樹

常任委員会 ◎：委員長 ○：副委員長

委員会名	委員氏名
総務財政委員会	◎高瀬 三徳 ○小峰 由枝 湯本良太郎 深川 幹祐 田村 英樹 大竹 辰治 菅谷 郁恵 犬伏 秀一 小川あずさ
地域産業委員会	◎秋成 靖 ○田中 一吉 長野 元祐 高山 雄一 広川恵美子 佐藤 伸 荒木 秀樹 平野 春望 馬橋 靖世
健康福祉委員会	◎伊佐治 剛 ○三沢清太郎 塩野目正樹 鈴木 隆之 大橋 武司 田島 和雄 清水 菊美 杉山 公一 荻野 稔
まちづくり委員会	◎大森 昭彦 ○岡元 由美 岸田 哲治 押見 隆太 椿 真一 黒沼 良光 須藤 英児 庄嶋 孝広 奈須 利江
子ども文教委員会	◎末安 広明 ○福井 亮二 松原 秀典 渡司 幸 海老澤圭介 松本 洋之 荒尾 大介 松原 元 植田 智一

特別委員会 ◎：委員長 ○：副委員長

委員会名	委員氏名
オリンピックパラリンピック観光推進特別委員会	◎椿 真一 ○深川 幹祐 長野 元祐 大橋 武司 清水 菊美 荒尾 大介 三沢清太郎 松原 元 小川あずさ 馬橋 靖世 荻野 稔
交通臨海部活性化特別委員会	◎松原 秀典 ○大竹 辰治 高瀬 三徳 高山 雄一 海老澤圭介 松本 洋之 小峰 由枝 佐藤 伸 植田 智一 奈須 利江
羽田空港対策特別委員会	◎岸田 哲治 ○須藤 英児 大森 昭彦 湯本良太郎 渡司 幸 岡元 由美 末安 広明 福井 亮二 杉山 公一 平野 春望
防災安全対策特別委員会	◎犬伏 秀一 ○押見 隆太 田中 一吉 伊佐治 剛 広川恵美子 秋成 靖 黒沼 良光 菅谷 郁恵 荒木 秀樹 庄嶋 孝広

各党派幹事長

自由民主党大田区民連合	湯本良太郎
大田区議会公明党	松本 洋之
日本共産党大田区議団	佐藤 伸
令和大田区議団(無所属5+維新1)	犬伏 秀一
立憲民主党大田区議団	小川あずさ

区議会だより編集委員会

委員長	鈴木 隆之 (議長)
副委員長	田村 英樹 (副議長)
委員	高山 雄一 (自 民)
委員	椿 真一 (公 明)
委員	清水 菊美 (共 産)
委員	三沢清太郎 (令 和)

議員選出監査委員

塩野目正樹	田島 和雄
-------	-------